

海外安全対策情報 2021 年第 4 四半期 (10~12 月)

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 社会情勢

ア 政治情勢

11 月 14 日に今年 3 回目の総選挙 (2 度目の解散総選挙)、及び大統領選挙が同時実施されましたが、これらの選挙実施に際して治安への大きな影響は特に見られませんでした。

イ 新型コロナウイルス情勢

10 月以降のブルガリア国内の急激な感染状況悪化に伴い、10 月 19 日、保健省は、飲食店や各種施設の利用の際にワクチン証明書や陰性証明書等の提示を必要とする、いわゆる「グリーンパスポート」制度を発表、導入しました。それ以降、この規制に反対する観光業界や飲食店業界等の関係者等によるデモが全国的に何度か行われましたが、12 月末時点で、治安への大きな影響は見られませんでした。

(2) 治安情勢

ア 犯罪統計

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2020 年の犯罪総数は前年比マイナス 22.1%で、2011 年の約 54%にまで減少しました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口 10 万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約 2 倍、殺人は約 4.7 倍、強盗は約 12.9 倍となっています。

イ 不法移民統計

内務省の発表によると、2021 年上半期 (1~6 月) のブルガリア国内における不法移民検挙件数は 2,278 件で、前年同期比 5.3 倍と大幅に増加しています。

(3) 邦人被害犯罪の発生状況

この期間中、邦人が被害に遭った事件は認知していません。

2 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、テロ・爆弾事件は発生していませんが、12 月 31 日夜、新年を祝う街頭イベントが開催されていたソフィア市中心部の広場において、手榴弾 (後に模擬弾と判明) を所持していた男が逮捕されたという事件が発生しまし

た。同人は、集まっていた市民に対して、反ワクチンや反マスクを呼びかけ、手に持っていた手榴弾を示したが、現場に駆けつけた警察官により無力化されました。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られません。新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思いや、長引くコロナ禍を背景としたストレスや不満の蓄積により、今後、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化してくるおそれがありますので、十分ご注意ください。